

第1期中期目標期間の業務実績 概要

地方独立行政法人市立吹田市民病院

中期目標期間中の新たな取組

年度	内容
平成26年度	<ul style="list-style-type: none">・市立吹田市民病院が地方独立行政法人へ移行・救急搬送専用電話回線の設置・内視鏡センターの設置・新病院基本設計業務の完了
平成27年度	<ul style="list-style-type: none">・大規模災害対応訓練の開始・江坂駅を結ぶ無料直行バスの運行開始・広報誌「ともに」の発行・新病院建設事業者との契約締結
平成28年度	<ul style="list-style-type: none">・救急トリアージ体制の整備・登録医総会の開催・院内保育所の対象年齢と受入枠を拡大・整形外科外来を完全紹介制に移行・認知症ケアチームの設置・資格手当の創設・専従の広報担当者の設置・新病院実施設計の完了、建設工事に着手
平成29年度	<ul style="list-style-type: none">・病院機能評価の認定・吹田保健所管内で初の吹田保健所と合同での新型インフルエンザ対応訓練の実施・消化器病教室の開催・臨床工学部の新設

救急医療

○ 取組内容

- 365日24時間体制の救急医療の提供を実施
- 消防からの迅速な受入が可能となるよう運用を見直し(救急搬送専用電話回線の設置、救急トリアージ体制の整備など)
- 救急受入に係る院内連携体制の整備(病棟当直医師による応援体制の整備など)



○ 結果

- 時間外救急車搬送受入率は、中期目標期間の4年間全てで、中期計画目標値を達成
- 救急搬送受入件数は、平成26年度は中期計画目標値を達成したが、平成27年度以降は減少傾向となり、目標値達成できず
- 吹田市内における救急受入状況については、救急車搬送外を含めた件数の35%前後を占めており、救急医療の中心的役割を果たしている

地域医療機関との機能分担・連携

○ 取組内容

- 地域医療機関との顔の見える関係づくり
(かかりつけ医訪問、登録医総会の開催、
病診・病病連携のためのカンファレンス等の
開催など)
- 整形外科外来を完全紹介制に移行



○ 結果

- 紹介率は平成26年度から大幅な上昇となり、目標値を達成した
- 平成28年度において、紹介率、逆紹介率の目標値を両方達成した
- 平成29年度は平成28年度と比較して、各指標で減少傾向にある(逆紹介率は平成29年度のみ検査件数を除いた率)
- 平成29年度の地域医療支援病院の取得には至らなかった

広報

○取組内容

- 広報誌「ともに」を発行、当院で行っている特色ある医療を特集(市内全戸配布)
- 市民公開講座の開催、病院だよりの発行など、直接市民への情報提供
- ホームページをよりわかりやすい内容に更新
- 専従の広報担当者の配置



○結果



- 広報内容の充実
- 市民病院受診のきっかけづくり
- 市民や患者にとって有益な情報の提供



経営状況

○状況

- 入院患者数の低迷により、入院収益が伸びなかった
- 外来診療単価が増加し、外来収益は大きく伸びた
- 人件費、材料費が増加し、費用は大きく伸びた



○結果

- 経営状況については、平成26年度は大幅な黒字を計上したものの、平成27年度はほぼ収支均衡、平成28年度及び平成29年度は赤字となり、中期目標期間全体では約1億2千万円の黒字
- 資金収支については、平成26年度当初から、約6億円の資金減少

新病院移転計画への対応

- 基本設計業務を完了
- 設計・施行一括発注方式(デザインビルド方式)による事業者選定
- 実施設計業務を完了、建設工事に着手
- 医療機器について高度医療機器を中心に選定

平成30年12月1日
移転

